



支部だより

Newsletter No.54

広報委員会

(一社)日本道路建設業協会中部支部

〒460-0003

名古屋市中区錦三丁目7番9号

(太陽生命名古屋第2ビル8F)

TEL.052-971-5310

迎春





目次

支部長新年挨拶	01
幹事長新年挨拶	01
中部地方整備局長新年挨拶	02
道路建設技術講演会	03
舗装施工管理技術者技術講習会	04
アスファルト舗装技術に関する講習会	05
技術委員会【建設技術フェア2017in中部】	06
防災訓練	07
安全委員会【安全パトロール】	08
社会・環境貢献活動【AED贈呈式】	10
中部緊急防災隊【防災隊式典・班長会議】	11
会員だより	12
季節の写真・編集後記	13
道路開通	14

■表紙写真

国土交通省「道の駅」シリーズ
国道156号

清流の里しろとり

路線名	国道156号
営業時間	8:30~18:00
駐車台数	大型6台、普通乗用車72台
休館日	火曜日(祝祭日の場合は翌日)

ここがポイント!

福井・岐阜・高山からの
交差点にある
「道の駅清流の里しろとり」。
観光案内所を併設した、休憩、食事、
買い物の出来る所です。
お土産、野菜、アウトドア用品を
購入でき、食品サンプル、
そば打ち体験も行えます。



駅長からのメッセージ

地元の農産物、地元ならではの商品を揃え、お客様に提供しています。
また、子供からお年寄りまで誰でも長時間滞在しても、楽しめる「道の駅」を目指して運営しています。

新年挨拶

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は中部支部の皆様方には、支部活動に対し、格別のご理解とご協力を賜り厚く感謝申し上げます。

道路建設業を取り巻く諸問題を解決する中で、魅力ある産業とするべき努力をしてきましたが、建設業全体にあっては、就労減少や高齢化がますます進む現状であります。そのような状況下で将来にわたって会員企業が活躍できる環境づくりのため、コンプライアンスの徹底、建設現場の生産性の向上、建設産業における働き方改革の推進などに向けた取り組みを積極的に推し進められるよう、先導していくのが協会の役割と考えています。

具体的には、3つの取り組みを行っていきます。

第一に「コンプライアンス体制確立の支援」公正取引関係・労働基準関係・暴力団対策関係の講習会の実施を行います。

第二に「i-Constructionの導入による効率的な事業の実施」ICT舗装工の導入を見込み、技術講習会や導入に際しての課題と対応等についての要望を行います。

第三に「担い手確保を目指した広報戦略の推進」道路建設業のイメージアップにつながる広報活動を進め、週休二日の確保に必要な条件を検討して行きます。

また、当支部では年度として「道路整備の推進」「道路技術の向上」「道路建設業の健全な発展」の3つを基本方針の軸と捉え、少しでも会員皆様にお役立てできるように活動してきました。そのためにもCPDS制度に対応した講演会・講習会をさらに充実して開催をしていきます。

まだまだ取り組むべき課題は「週休二日制の普及・定着」を始めとする処遇改善や国交省の直轄工事におけるi-Constructionの推進に向けてのICT活用に対応できる人材育成など山ほどあります。

協会の使命は、会員各社の皆様が活躍できる魅力ある環境づくりに専念し、社会と企業にお役に立つための諸活動のさらなる充実に取り組むことであります。

これまで以上に魅力ある協会づくりを進めますので、ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



支部長

青野 俊弘

(東亜道路工業株式会社 中部支社 常務執行役員支社長)



新年あけましておめでとうございます。

会員各社の皆様におかれましては、良い年をお迎えのこととお喜び申し上げます。本年も協会支部活動が円滑に運営できるよう、ご支援の程どうぞよろしくお願いいたします。

昨年を振り返ると、一昨年から続く恒例行事への遠慮や自粛と言った、少し窮屈さと寂しさを感じる月日が続きました。今年も我々の道路建設業界を取り囲む環境は厳しいものがありますが、これに負けることのないよう明るい一年にしたいものです。

さて、ご存じの方も多いと思いますが、昨年11月16日に「働き方改革に向けた基本方針」を日本道路建設業協会が発表しました。長時間労働の是正(自主規制)と週休二日制の実現の二つを達成目標に掲げ、そのための方策として業界全体の取組と会員各社への取組要請を働き方改革の推進に向けた方策として打ち出しました。これに対して、私達は一丸となって具体的な方策を実践し、将来の担い手である若者に対して夢のある業界であることを理解してもらえるよう努力することが担い手確保の手段であり、それが各社の発展に繋がると考えるのは私だけではないと思います。働き方改革の一步を確実に踏み出せるよう、皆様のご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

本年は平成30年となり、元号が「昭和」から「平成」に変わって早30年が経過し、節目に当たります。顧みますと、この30年間、我々を取巻く環境は著しく変化を続けて参りましたが、その都度、適切に対応し続け幾多の困難を乗り越えてきたとの思いがあります。環境の変化は今もなお続いており、更に進化は加速しています。「更なる進化」に対応するため、人材確保と人材育成にもっと目を向ける節目の年になるよう願います。

会員各位ならびに関係の皆様方にとりまして、良い年になりますことを祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

幹事長

淵上 彰恭

(世紀東急工業株式会社 名古屋支店 執行役員支店長)



新年 挨拶



国土交通省
中部地方整備局長
塚原 浩一

平成30年の年頭にあたり、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

日本道路建設業協会中部支部の皆様方におかれましては、旧年中、中部地方整備局の事業の推進に格別のご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、日頃より災害対応や支援活動はもとより、戦略的な維持管理・更新、週休二日制の実現、i-Constructionなど、様々な取り組みに連携・ご協力頂いてますことを改めて感謝申し上げます。

昨年は、九州北部を記録的豪雨が襲い、土砂崩れや増水などにより多くの人命と財産が失われ、中部地方でも記録的短時間大雨の頻発や複数の台風が襲来するなど、改めて社会基盤の整備の重要性を認識させられました。

大規模災害リスクへの対応や巨大な産業活動を支えるためには、中部地域の道路等の社会基盤の充実・強化を着実に進めていくことが不可欠であり、そのためには、社会資本の担い手として、また災害時の地域の守り手として、社会資本整備の現場に精通されている皆様方の高い技術力を経験、そして気概と活力が何よりも必要です。

当整備局では、貴協会と一体となって地域の安全・安心と更なる発展に向け全力で取り組んで参りますので、今後ますますのご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに、貴協会のますますのご発展と会員皆様のより一層のご活躍を祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。



平成29年度 道路建設技術講演会



平成29年度道路建設技術講演会を(一社)日本道路建設業協会中部支部主催で11月7日に名古屋市東区の名古屋市東文化小劇場で開催しました。

行政・コンサルタント・支部会員企業・一般参加企業などから230名の参加がありました。

冒頭、同協会中部支部の青野俊弘支部長から「建設業界の人手不足の深刻化が一段と進んでおり、このまま進めば日本のインフラの劣化につながる。」との考えを示しました。

「その要因として第一は他の産業に比べて労働時間が長い、第二に所得が低い、第三は3Kのイメージが強いためと思われる。今後は働き方改革に取り組みなければならない。」と述べました。

プログラムでは日本みち研究所の石田東生理事長が「社会システムのイノベーションと道路政策」と題し、イノベーションの必要性を訴え、豊かな暮らしを支える道路が重要と説きました。

次に国土交通省中部地方整備局の和賀正光道路調査官が「中部の道路事業について」のお話があり、最後にNPO法人子ども・宇宙・未来の会理事で宮大工の小川三夫氏が「不揃いの木を組む」と題し実際の活動をDVDで上映し講演を行いました。参加者は熱心に講演を聴き入り最後に同協会中部支部の渕上彰恭幹事長の閉会挨拶で無事終了しました。

また今回の講習会では希望者にはCPDS認定プログラムで4ユニットが付与されました。



青野支部長



日本みち研究所 石田理事長



中部地方整備局 和賀道路調査官



NPO法人子ども・宇宙・未来の会 小川理事

舗装施工管理技術者技術講習会



(一社)日本道路建設業協会主催による、平成29年度舗装施工管理技術者技術講習会が9月28日名古屋市中区ナディアパークデザインホールで、中部支部会員企業などから約200名が参加し、最新の舗装技術や関連法規改正などの習得を目的に開催されました。

冒頭のあいさつで、青野俊弘中部支部長は今年度の

3つのテーマとして「i-constructionへの対応」「担い手確保のイメージアップ」「業界のコンプライアンス体制の構築」を掲げ取り組んでいく事、またこの講習会を通じますますの技術力向上が図られることを期待すると述べられました。

講習会では、第1章で国土交通省中部地方整備局道路部の柴山智和道路情報管理官が「舗装事業をめぐる社会・経済情勢と各種制度」について講演されました。

第2章から第4章までを道建協本部の方々が担当し、青木一生環境・安全委員会安全部会委員が「舗装工事の安全対策」、遠藤雅晴環境・安全委員会環境部会委員による「建設副産物対策」、中原大磯技術委員会委員が「最近の舗装技術の動向(1)・(2)」について、それぞれ舗装に関する最新の取り組みを紹介しました。

今回の講習では、CPDS認定講習会として受講者に5ユニットが付与されました。



アスファルト舗装技術に関する講習会

愛知県アスファルト合材協会
(一社)日本道路建設業協会中部支部



愛知県アスファルト合材協会
技術管理委員会
難波陽一担当理事

愛知県アスファルト合材協会(川中喜雄会長)と(一社)日本道路建設業協会中部支部(青野俊弘支部長)は7月7日名古屋市中区のホテル名古屋ガーデンパレスで『平成29年度アスファルト舗装技術に関する講習会』を開催し、会員企業から約140名が参加し、4時間にわたり最新のアスファルト舗装技術を学びました。

冒頭、愛知県アスファルト合材協会技術管理委員会の難波陽一担当理事は『自然災害が多発しており、早急な道路復旧がさらに重要になっている。社会資本のメンテナンスも喫緊の課題。知識を身に付け地域のために技術力を発揮してもらいたい』と呼びかけられた。

その後の講習では4つのテーマに対して6名の講師が下記内容の講習を行いました。

最後に質疑応答が行われ、閉会挨拶を(一社)日本道路建設業協会中部支部 横山和夫環境委員会委員長が述べられ講習会が終了しました。

- 講師 国土交通省中部地方整備局
道路部道路管理課長 今井 浩策 様
『道路をめぐる最近の話題について』
- 講師 (一社)日本産業機械工業会エコスラグ利用普及委員会
『道路用溶融スラグマニュアル改訂』
(経緯と趣旨について)
事務局 水田 耕市 様
(品質管理マニュアルのポイント)
標準化分科会分科会長 長田 守弘 様
(設計施工マニュアルのポイント)
標準化分科会委員 大河内 宝 様
- 講師 公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター
電子マニフェスト事業担当理事 麻戸 敏男 様
『電子マニフェストの運用及びQ & Aについて』
- 講師 株式会社NIPPO中部試験所
所長 鐘ヶ江 隆人 様
『舗装技術について』

技術委員会

建設技術フェア2017in中部

10月18日・19日の2日間、吹上ホールにおいて『建設技術フェア2017in中部』が開催されました。

前回は上回る272の会社・団体が出展し、開会式では国土交通省中部地方整備局の塚原局長から「建設産業が元気でないと重要施策を進めることができない。生産性を向上させ、魅力ある産業とすることが重要である。」と御挨拶頂きました。

建設業界として、技術者不足、働き方改革、生産性の向上と様々な問題に対応すべく、最先端技術ICT・建設口

ロボット活用をより推進する出展が多く見られ、講演会では「建設ICT推進セミナー」が開催され、建設産業にICT導入効果を高めるためには何が必要かをテーマに、最先端技術への理解を深める討論が活発に行なわれていました。

また、未来の技術者としてより近く接することができる「学生交流ひろば」が昨年に引き続き設置され、道建協も女性技術者が対応し「話しやすい雰囲気だった」「就職の参考になった」と好評で、多くの学生に道路建設の必要性をPRすることができました。



建設技術フェア2017in中部 会場



(一社)日本道路建設業協会中部支部ブース



学生交流ひろばの様子

防災訓練

防災の日(9月1日)防災訓練を実施・連絡体制を確認

中部緊急防災隊(瀧上彰恭本部長)は9月1日に南海トラフ巨大地震発生を想定して防災訓練を愛知・岐阜・三重・静岡・長野の5県下で実施しました。

名古屋市中区の日本道路建設業協会中部支部事務局に災害対策本部を設置し、本部長の指示を中部エリアの5地区16班の班長に伝達し、中部5県の地区責任者・班長との連

絡体制や緊急物資・機材の保管状況などを確認しました。

中部緊急防災隊は自然災害など緊急時に道路管理者と協力し災害時の道路面の確保などの緊急対応に当たっています。

普段の備えが訓練にも生かされ指示・報告がスムーズに行われました。



安全委員会

明けましておめでとうございます。平素は安全委員会活動にご協力ありがとうございます。

当協会活動の一環であります発注者との合同安全パトロールを、国土交通省中部地方整備局 飯田国道事務所管内に於ける三遠南信(飯田国土交通省中部地方整備局の方々・中日本高速道路(株)・名古屋保全サービスセンター・豊田保全サービスセンター及び中部地区高速道路保尚、本年度は今回の投稿以外に11月16日(東海北陸自動車道)また12月11日(23号中勢久居相川交差点改良工事及び23号中勢半田東交

●平成29年度 三遠南信道(飯喬道路)工事 合同安全パトロール(9月13日)

飯田国道事務所管内

三遠南信瀧江上城舗装工事(平成28年度)(株)NIPPO)
三遠南信上久堅舗装工事(平成29年度)(株)ガイアート)
三遠南信神之峰舗装工事(平成28年度)(大有建設(株))

参加者

国土交通省中部地方整備局

道路部	特定道路工事対策官	小幡 敏幸
飯田国道事務所	副所長	二村 隆之
	事業対策官	伊東 義人
	建設監督官	和田 春樹

(一社)日本道路建設業協会中部支部 安全委員会

安全委員長	(株)ガイアート	山本 正樹
安全委員	常盤工業(株)	志田 睦穂
〃	大有建設(株)	中野谷 眞己
〃	三井住建道路(株)	松田 雄二
〃	福田道路(株)	横山 和夫
〃	(株)ガイアート	大山 泰司
〃	(株)ガイアート	岩津 和久



橋道路)工事及び、中日本高速道路(株)名古屋支社管内に於ける東名高速道路集中工事にて実施いたしました。
全工事安全対策協議会の皆様方にはご多忙中当委員会にご協力いただき誠にありがとうございました。
差点改良工事)のパトロールを実施いたしました。

●平成29年度 東名集中工事
合同安全パトロール(10月3日)

東名集中工事

- 名古屋管内舗装補修工事(平成29年度)(大有建設(株))
- 豊田管内舗装補修工事(平成29年度)(世紀東急工業(株))

参加者

中日本高速道路(株)

名古屋支社 保全・サービス事業部

技師	辻村 史晃
施工管理員	大野 明

名古屋保全・サービスセンター

副所長	清水 厚宏
保全(工事)担当課長	供田 登

豊田保全・サービスセンター

所長	早川 慎治
副所長	安藤 博文
保全(工事)担当課長	岡田 和弘

中部地区高速道路保全工事安全対策協議会

中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋(株)

事業第一部長	白田 芳彦
東亜道路工業(株) 安全環境部長	原 宏
(株)ガイアート 安全部長	岩津 和久

(一社)日本道路建設業協会中部支部 安全委員会

安全副委員長	フジタ道路(株)	水口 孝
安全委員	地崎道路(株)	朝比奈 和徳
〃	東京舗装工業(株)	石尾田 悟
〃	北川ヒューテック(株)	山田 幸雄
〃	(株)市川工務店	小林 功和
〃	(株)竹中道路	松森 啓司
〃	(株)ガイアート	岩津 和久
〃	世紀東急工業(株)	渕上 彰恭



道建協の社会・環境貢献活動

AED贈呈式

道建協では社会・環境貢献活動の一環として長野県飯田市の道の駅『遠山郷』にAED(自動体外式除細動器)を贈りました。

贈呈式は平成29年10月24日(火)、道の駅『遠山郷』にて行われました。道の駅『遠山郷』からは、遠山郷観光協会 近藤力夫会長、飯田市南信濃まちづくり委員会 牧島定好会長、飯田市産業経済部 観光課遠山郷観光振興係 西永俊充係長、一般財団法人飯田市南信濃振興公社 酒井郁雄事務局長が出席されました。

当中部支部からは青野支部長、中部ブロック「道の駅」

連絡会事務局 田島浩美事務局長が出向き、青野支部長より贈呈しました。

最近街中ではよく見かけるようになったAEDですが、まだ設置されていない道の駅は数多くあります。温泉もある人気の道の駅『遠山郷』は観光客や地元の方々のコミュニティの場としても沢山の方が訪れます。万が一に備えてのAEDは必要不可欠です。地域の方々の安全・安心に貢献できるよう今後も道建協としてAEDの贈呈を引き続き行ってまいります。



 遠山郷



中部緊急防災隊

防災隊式典・班長会議

日本道路建設業協会中部支部の会員企業らで組織する中部緊急防災隊(渚上彰恭本部長)は7月28日、2017年度式典を名古屋市中区の名古屋ガーデンパレスで開催しました。愛知、岐阜、三重、静岡、長野の中部5県から各地区の隊員ら約150人が参加し、防災活動の一層の充実に向けて決意を新たにしました。

中部緊急防災隊は、中部地区を5区・16班に地区割りし、1979年の発足以来、道路災害の緊急時に、ライフラインを確保するために主要な道路管理者の要請に応じて早期復旧に貢献。他地区の大災害に対しても資機材支援活動を行い、高い評価を得ています。

式典には中部地方整備局、名古屋高速道路公社、中日本高速道路株式会社、道建協本部からご来賓を賜りました。

渚上本部長は訓示で「いかなる災害に対しても、これまで培ってきた経験を生かし、更なる対応をしていく」と述べ、「今まで以上に緊急連絡体制を強化し資機材の点検と確保をより一層充実させ、迅速で的確な対応をお願いします」と要請しました。

来賓を代表してあいさつをした谷口孝司中部地方整備局企画部機械施工管理官は「近年、全国各地で豪雨が発生しています。災害発生時には迅速な道路の確保が課題となり、豊富な経験と技術を持つ皆さんの協力が欠かせません。連携し、災害に備えるため、引き続き支援をお願いします」と述べ、期待を寄せられました。佐藤俊昭 日本道路建設業協会 環境・安全委員長は「他に例がない組織。さらに充実を」と激励しました。

最後に、中野谷真己隊長が綱領を朗読し「規律と連携の下、災害発生時に機動力と技術を駆使して復旧に当たり、公共の福祉に寄与する」と力強く誓い、式典を終えました。

防災隊式典前には、総勢51名出席のもと「班長会議」を開催しました。山本事務局長からは広報活動についての説明、続いて水口対策委員長からは班員会議での要望に対する意見の取りまとめと対応、また、南海トラフ防災訓練と協会主催の防災訓練の概要説明を行いました。



渚上本部長訓示



防災隊式典



班長会議



来賓挨拶 谷口中部地方整備局企画部機械施工管理官

会員だより

社会人になって 世紀東急工業(株) 名古屋支店 営業部 新谷 なを

私は、昨年の春に入社いたしました。学生時代とは生活も自分のいる環境も違う中で仕事を覚える事に必死ですが、初めて学ぶことが多くとても新鮮で楽しいです。

電話をとることが苦手だった私は入社当初はなかなか電話に出る事を躊躇してしまいがちで、電話に出た際も緊張でしっかりと話せなかったのですが、入社当初に比べたら、リラックスして話せるようになってきました。



ハロウィンの時のUSJ(左:姉、右:私です)

また、学生から社会人になって時間とお金の使い方が変わりました。社会人になった今の方が仕事終わりや休日が充実している気がします。最近の趣味は旅行で、熱海と大阪と福岡に行きました。名産物などのそこでしか味わえない美味しいものを食べているときにとても幸せを感じられるので、食べ物やお酒が美味しいおすすめの場所があれば是非教えてください。



新入社員フォロー研修

趣味の合う姉とはとても仲が良く共通の知り合いも多いので、一緒に出かけることが多いです。そんな姉とUSJによく車で行くのですが、道中に弊社が携わった道路を通ると少し自慢げに話したり、工事中の看板を見るとどんな工事をしているかを見たり、働き始めるまで気にしていなかったことを普段の何気ない日常生活で気になるようになりました。

家の近所で何か工事をしているときも、こうやって現場の方は、夏は炎天下の中、汗を流しながら、冬は寒くて手がかじかむ中、毎日頑張ってくれているのだと思うと事務で業務内容は全然違っていても私も頑張って働いて社会に貢献しようと感じました。

社会人1年目でまだまだ分からないことも沢山あって今の自分に出来ることも限られていますが、自分の出来る仕事を精一杯やり、元気に笑顔で自分らしく社会人生活を楽しく過ごしていきたいと思っています。



太宰府天満宮



博多ラーメン(鳳凛)



福岡タワー
(左:私、右が:姉です)

季節の写真

冬ながら
空より花の
散りくるは
雲のあなたは
春にやあるらむ

清原深養父



編集後記

支部だよりが発刊される頃、平成30年を迎えます。当時小淵官房長官のテレビ発表が本当に懐かしく思い起こされます。

激動の昭和から平和への思いが託された平成の30年間、社会はIT革命により劇的に変化し、情報化社会の波が世界規模でうねっています。

支部活動を通じて感じることは、世の中のIT化が進めば進むほど災害、事故に備えるために、人と人のつながり、地域のコミュニティを大切にする防災訓練等

の重要性です。いざとなれば頼れるのはコンピューターではなく人だと思えます。

新しい元号の話題も出始めた今日この頃、東京オリンピックもあり業績が安定している今、政府が決定した働き方改革実行計画のもと休日出勤、長時間労働等の建設業の構造的問題を解決し、人に優しい魅力ある産業に変わるチャンスではないでしょうか。

広報委員 寺門 義明

連絡先

(一社)日本道路建設業協会 中部支部「広報委員会」まで

●TEL 052-971-5310 ●FAX 052-971-5375
●ホームページ <http://www.dohkenkyo.or.jp/> ●Eメール chubu@dohkenkyo.or.jp

道路開通

Road opening of traffic

●平成29年10月22日(日)
東海環状自動車道(約7.0km)

養老JCT から **養老IC**



▲開通式



▲開通式



開通!



一般社団法人
日本道路建設業協会中部支部